

山梨県で学校の先生になろう！（先輩教員の声）



学校名 甲州市立菱山小学校

養護教諭 掛本 絵莉香

令和5年度採用

山梨県出身

◆学校の先生になった理由

きっかけは、中学生時代の保健室の居心地が良かったことです。強く志すようになったのは、年の離れた兄弟の悩みを聞く中で、“同じように悩む子供たちに寄り添い、適切な関わりをしていきたい、一人でも多く、子供を救いたい”と思ったからです。兄弟に「えりかみみたいな保健の先生がいてほしかったな。」と言われた言葉は、今でも私の養護教諭としての原点です。

◆学校の先生の「やりがい」や「魅力」

子供の発育・発達について、すぐ近くで成長を感じることができることが、魅力の一つだと感じています。

今は学校以外にも学びの情報はあふれていますが、学校で友達と過ごしていくからこそ育つ非認知能力というものもあり、また、これからの社会において必要とされる「新たな価値を創造する資質・能力」・「SDGsの実践」・「ウェルビーイングな社会の実現」などの要素は、これまで学校教育の中で大切にされてきた内容でもあると感じています。さらに長い目で道徳性を育むことも、学校だからこそできることだと思います。

◆先生になって「楽しかったこと」や「感動したこと」

東京で勤務していた際、保健室登校の生徒や発達に偏りがある生徒に対し、SCや支援員とともに個別指導や保健室で寺子屋のような学習をしたことが楽しかったです。無事卒業し本人の希望が叶った進学となりました。卒業後には近況報告にも来てくれました。喜びを共有し、とても感激したことを憶えています。

山梨県では初めて小学校に赴任しました。日々児童とのかかわりが楽しく、運動会での姿を見て、我が子のように思えて涙が出ました。保健指導では、担任と相談しながら児童の実態に即した内容や仕掛けを考えて実践すると、一人一人豊かで素直な反応があり、やりがいと楽しさを感じています。

◆学校の先生として心がけていること

「子ども」ではあれども一人の人間として尊重し接することは、仕事でも家庭でも意識しています。

東京都で初任の頃、管理職の先生に「担任は最高の状態を想像し、養護教諭は最悪の事態を想定して危機管理や対応をする。」ということを読んでからは、その視点を忘れずに組織で対応できるよう心がけています。また、お世話になったSCの方がいつも私の小さな変化に気づいてお声掛けしてくださることが嬉しかったので、私も日常のささいな変化に気をつけています。「靴、新しくしたんだね！嬉しいね〜」とか、「その色素敵ですね！似合っています！」とか同僚の先生方にも進んで声をかけるようにしています。



◆わたしの学校（職場）の雰囲気

わたしの職場には、自身の通院や育児・介護などの事情を抱えている方もいます。計画的に年休を消化できるような細かな配慮を常に感じ、ウェルビーイングな環境を目指して、子育てや介護をしている先生でも働きやすいような支援があります。私のように、産育休を機に働き方に悩む方も大勢いらっしゃるのではないかと思います。部分休業を取得していることで、早めの退勤に大変さや申し訳なさを感じる時もありますが、管理職のご配慮と、他の先生方からの優しさで深いご理解に、日々大変感謝しています。

◆先生になる前とのイメージの違い

採用前は、家庭環境や背景が複雑で周りに対して攻撃的な子どもがいたら怖いなど、漠然と感じていましたが、どの地域であっても多かれ少なかれいろいろな問題を抱えた子どもがいて、どんな子どもであっても「自分を認めてほしい・見てほしい・大切にされたい」という気持ちがあり、愛おしい存在であることには変わりないと感じています。

◆退勤後や休日の過ごし方（私のリフレッシュ法）

部分休業を取得しているため、16時20分～30分には退勤し、保育園へお迎えに行っています。家事、育児、寝かしつけなど帰宅後は寝るまでノンストップです。土日は、家族みんなで公園や図書館、イベントスペース等に行ったり、美味しいものを食べに行ったりして過ごしています。子どもも自分も楽しめる休日を心掛け、子どものお昼寝中に、読書や美容院などの自分時間をつくるようにしています。

◆山梨県のよさ

東京都を受験した際、東京なら全国の良い人材と切磋琢磨していると思って志願し、10年間勤務しました。山梨県で採用され、

東京都とも遜色ないほど研修や研究の内容が充実していて、特に実践に根ざした改善意識の高さに驚きました。

◆掛本絵莉香先生の1日

出勤	8:00頃に出勤します。 水質検査やAEDの確認、食物アレルギーの確認、登校時のケガ対応、児童の様子把握（特に前日欠席者や傷病対応した児童を中心に）などを行っています。
朝の会	健康観察簿の回収をしながら児童の様子を観察したり、担任と遅刻早退欠席理由等の確認をしたりします。
授業	来室者対応をします。教室へ送り届けながら校内を見回り、姿勢や端末画面との距離等についての声掛け指導もします。
給食 昼休み	職員室で給食を食べます。具合が悪い児童や、保護者のお迎え待ちの児童がいる時は、保健室で一緒に食べることもあります。
掃除	担当児童と一緒にトイレ掃除をします。
帰りの会	校庭へ出て、下校前に傷病者対応した児童への声かけをします。
放課後	職員室で仕事をしながら、担任の先生方と情報共有をします。
退勤	

◆山梨県の学校の先生を目指す方へのメッセージ

これからの社会にむけて必要な力を身につけられるように、学校現場は日々、子供達とともに変化しています。“よりよい社会をつくるための人材育成を担い、より良い教育をほどこす”山梨県はそのことを身近に感じさせてくれる良さがあると感じています。自治体も校種も違うところで新採として復帰する不安はありましたが、山梨県の教員になって良かったと感じています。一緒に働けることを楽しみにしています！